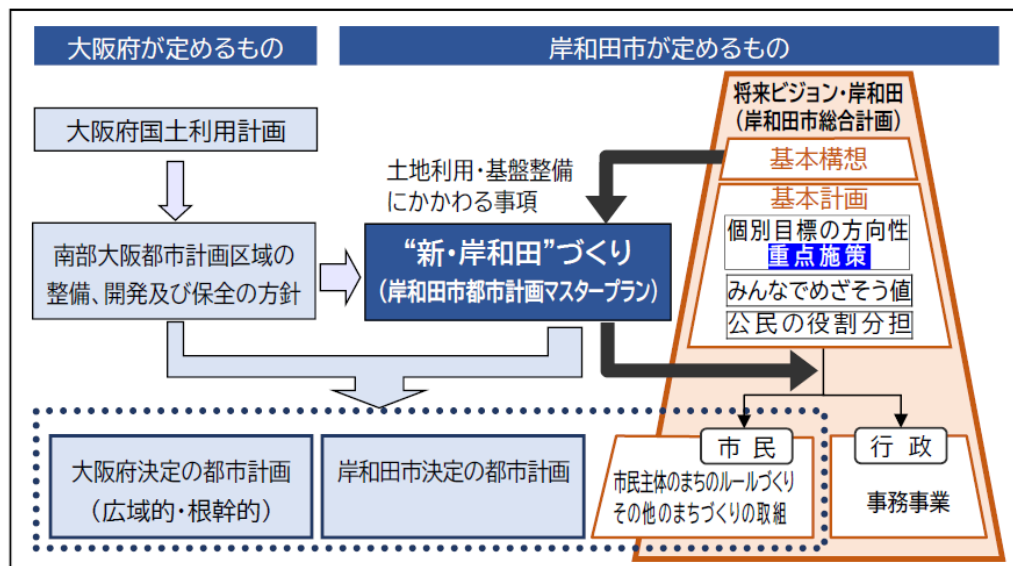


1 計画の概要

① 目的

・市制施行100周年を迎え、次の100年に向けた新たな一歩を踏み出す計画
・「将来ビジョン・岸和田（岸和田市総合計画）基本構想」のもと、「“新・岸和田”づくり（岸和田市都市計画マスタープラン）」を示し、基本構想を都市空間として具体化

② 位置付けと役割



○ 目標年次 2034（令和16）年度

③ 計画の構成

第1章 全体像

1. まちづくりの全体像

「将来ビジョン・岸和田 基本構想」で位置付けられた「広域連携型都市構造」の実現に向けた考え方、また「社会状況の変化」に対応する都市計画分野を中心とした展開イメージ

2. テーマ別まちづくり方針

「将来ビジョン・岸和田 基本構想」を実現していくため、都市計画分野を中心とする5つのまちづくりのテーマに着目し、それらの施策の方針

3. 都市計画分野別の方針

テーマ別まちづくり方針を踏まえつつ、土地利用、交通施設、公園施設に関する方針

第2章 地域像

今後の地域における市民・事業者主体のまちづくり活動に役立つ資料となるよう、6つの地域ごとに、都市計画分野を中心としたまちづくり方針・方策ごとの取組状況や地域資源を整理

第3章 まちづくりを支える仕組み

本計画に基づいてまちづくりを展開していくための仕組み

2 まちづくりの全体像

① 広域連携型都市構造の実現

「将来ビジョン・岸和田 基本構想」で位置付けられた「広域連携型都市構造」の実現に向けた考え方

方策イメージ図



② 社会状況の変化に対応する展開イメージ 裏面 5 参照

3 テーマ別まちづくり方針

① 多彩な魅力と活力を備えたまちづくり

- (1)都市型産業の振興と交流のための拠点づくり
- (2)農林漁業の振興とふれあいの環境づくり
- (3)地域資源を活かした観光と交流の環境づくり
- (4)交流と連携を高める交通網づくり

② 環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり

- (1)将来にわたって安全で快適な生活環境の確保
- (2)山から海につながる水とみどりの保全と形成

③ 地域で守り育てる景観まちづくり

- (1)景観を構成する有形要素
- (2)景観特性を表わす要素
- (3)地域特性に応じた景観形成
- (4)魅力的な景観形成
- (5)景観のまちづくりを支える仕組みの充実

④ 人にやさしいまちづくり

- (1)誰もが活動しやすいまちづくり
- (2)多様なライフスタイルを選択できる居住環境の形成
- (3)地域で集うまちづくり

⑤ 災害に対し、強さとしなやかさを備えたまちづくり

- (1)防災・減災力の向上
- (2)防災・減災機能の充実
- (3)防災・減災意識の高揚と醸成

4 都市計画分野別の方針

テーマ別まちづくり方針を踏まえた下記の項目の方針

① 土地利用の方針

地域特性に応じた土地利用の方針

② 交通施設の方針

都市計画道路の整備の方針、計画の定期的見直しの必要性

③ 公園の方針

都市計画公園の整備の方針、計画の定期的見直しの必要性

5 社会状況の変化に対応する展開イメージ

「将来ビジョン・岸和田 基本構想」で記載された「社会状況の変化」に対応する都市計画分野を中心とした展開イメージ

※テーマ別まちづくり方針、都市計画分野別の方針からポイントを記載

将来ビジョン・岸和田 基本構想	“新・岸和田”づくり (岸和田市都市計画マスタープラン)	
	ポイント	関連が深い SDGs
社会状況の変化		
人口減少・超高齢社会	<現状と課題> 人口減少・少子高齢化の進行は、空き家の増加や地域コミュニティの弱体化、交通弱者の増加、小売業の衰退など日常生活を支える機能の維持が困難になるなど、生活環境におけるさまざまな課題を招き、ひいては転出超過が加速することが懸念されます。 <方向性> *多様な暮らし方・働き方ができる生活環境の維持・形成 *山地・農地・市街地のバランスは概ね現況を保つ *効果的で持続可能な公共交通ネットワークの形成 *公共交通と連携したまちづくり *地域で集う場づくり 等	       関連の深い方針 2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり 2-4.人にやさしいまちづくり 3-1.土地利用の方針
	<現状と課題> 「将来ビジョン・岸和田 基本構想」において、国際目標(17 の目標)による「誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現」を意識したまちづくりをめざしています。 <方向性> *都市計画分野においても、社会・経済・環境の統合的向上による強靱で持続可能なまちづくりをめざします。	関連の深い方針 2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり 2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり 2-3.地域で守り育てる景観まちづくり 2-4.人にやさしいまちづくり 2-5.災害に対し、強さとしなやかさを備えたまちづくり
SDGs (持続可能性・多様性)		
地球環境問題	<現状と課題> 本市では、SDGs の理念を踏まえて、2021(令和 3)年 7月に市民と事業者とともに、連携して 2050(令和 32)年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。都市計画の分野においても、脱炭素型・循環型のまちづくりに取り組んでいく必要があります。 <方向性> *山地・農地・市街地のバランスは概ね現況を保つ *交通施策と連携したまちづくり *住宅ストックの活用と長期優良住宅の普及を促進 *脱炭素型・循環型の施設整備・更新 *インフラ施設の長寿命化 *第1次産業の活性化と市内循環・消費の推進 *樹林地・農地の保全・活用と市街地の緑化推進 等	       関連の深い SDGs 関連の深い方針 2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり 3-1.土地利用の方針 3-2.交通施設の方針 3-3.公園の方針

将来ビジョン・岸和田 基本構想	“新・岸和田”づくり (岸和田市都市計画マスタープラン)	
	ポイント	関連が深い SDGs
社会状況の変化		
危機管理	<現状と課題> 近年、自然災害が激甚化・頻発化するなか、温室効果ガス排出削減に加えて、既に起こりつつある、起こり得る気候変動の影響に対して、被害を回避・軽減し、また迅速に回復するまちづくりが求められています。 <方向性> *自然的条件を考慮した土地利用 *建築物の不燃化・耐震化 *インフラ施設の耐震化 *樹林地・農地・公園等による保水・透水機能の保持 *緊急輸送ルートの確保 *応急・復旧活動として活用可能な空地の配置 等	     関連が深い SDGs 関連が深い方針 2-5.災害に対し、強さとしなやかさを備えたまちづくり 3-2.交通施設の方針 3-3.公園の方針
革新的技術	<現状と課題> 【革新的技術の活用】さまざまな情報を含むビックデータを AI で解析することによって効率的・効果的なサービスの提供、また新技術によってマンパワー不足を補うことなど、さまざまな分野で課題解決の一翼を担うことが期待されています。 【技術革新がもたらす社会生活の変化】新型コロナウイルス危機を契機にオンライン化が進み、働き方や生活に対する意識が変化し多様化するとともに、運動不足やストレス解消の場として、緑やオープンスペースの重要性が再認識されています。 <方向性> 【革新的技術の活用】 *MaaS の普及等による公共交通の利便性促進 *環境負荷の少ない次世代モビリティの活用 *脱炭素型・循環型の施設整備・更新 等 【技術革新がもたらす社会生活の変化への対応】 *子育て世代が多様な暮らし方・働き方を選択できる生活環境の形成 *自然・歴史・文化資源等を活かし、歩きたくなる空間形成等	    関連が深い SDGs 関連が深い方針 2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり 2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり 2-3.地域で守り育てる景観まちづくり 2-4.人にやさしいまちづくり 2-5.災害に対し、強さとしなやかさを備えたまちづくり
財政状況	<現状と課題> 高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラ施設が今後一斉に老朽化することから、計画的な維持管理が求められています。 また、社会情勢に対応した効率的で効果的なインフラ整備が求められています。 <方向性> *子育て世代が多様な暮らし方・働き方を選択できる生活環境の形成 *インフラ施設の計画的な維持管理 *都市計画道路・公園の配置計画の定期的見直し 等	    関連が深い SDGs 関連が深い方針 2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり 3-2.交通施設の方針 3-3.公園の方針

6 パブリックコメントのご案内

募集対象となる計画 都市計画マスタープラン全体像・素案
募集期間 令和4年6月10日(金) から7月11日(月) まで
提出方法 ①意見公募提出用紙に記入して提出
②インターネットから提出



7 今後のスケジュール案

R4. 11~12月頃
都市計画マスタープラン案
パブリックコメント実施

R5. 1月頃
都市計画審議会
諮問

R5. 1月頃
都市計画マスタープラン
策定